

ハートがよろこぶ アートのちから [なはーと]

NAHArt

市 民 が 集 ま る 広 場 と し て の 劇 場



Traditional dance
Musical
Theater
Concert
Exhibition
Workshop





「劇場から音が生まれる」

舞台上演奏される音色を効果的に反射させて、観客席へと届ける「音響反射板」。なは一との舞台に音響反射板が設置される様子を動画で公開しています。ぜひ一度、ご覧ください。

なは一と公式
Youtube

プロの生演奏を
目と耳で楽しんで

題目だけ見ると難しく聞こえるかもしれませんが、テレビやCMで一度は耳にしたことがあるような曲目になっています。「ピアノ協奏曲ト長調」は漫画の「のだめカンタービレ」でも取り上げられていた曲です。オーケストラは演奏中の姿を見るのも楽しいです。奏者一人ひとりの動きに注目して、生の演奏を楽しんでください。



コンサートマスター
阿波根 由紀



©Marco Bonggreve
ピアノ
萩原 麻未

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール<ピアノ部門>において、日本人として初めての優勝。現在、日本、フランスを中心に多数の国でソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。広島県出身。



©Rowland Kishima
指揮
大友 直人

桐朋学園大学を卒業。22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。現在、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督を務める。

PICK UP! 02
響き渡る
ふれあいの音

2001年に設立された琉球交響楽団は今年度で設立20周年を迎えました。沖縄でプロのオーケストラによる演奏を楽しんでほしいと立ち上げられ、広く県民に親しまれています。今回の定期演奏会は20周年イヤーのラストを締めくくる記念公演でもあります。メインプログラムとして、設立コンサート以来となるフランクの「交響曲

ソリストに迎えるラヴェルの「ピアノ協奏曲ト長調」にも注目です。同楽団の田中孝子さんは「今回はコルネットやイングリッシュホルン、バスクラリネットなど特殊な管楽器も使う大編成。聴きどころがたくさんあり、初心者でも楽しめる構成になっています。ぜひ多くの方に聴いていただけたら」と話します。

二短調」が20年ぶりに演奏されるほか、ジュネーヴ国際コンクール・ピアノ部門で日本人初の優勝者、萩原麻未さんをソリストに迎えるラヴェルの「ピアノ協奏曲ト長調」にも注目です。

琉球王国の宴を再現
現代風の作舞も試みる

琉球王国では王が任命される際、明（のち清）の皇帝から冊封使が派遣され、宴を開いてもてなしました。当時演奏された「北宮十二頌曲」は本来歌のみですが、新たに現代の琉球舞踊家による作舞を試み、できるだけ当時の音色を想像して演奏します。古の歌詞にのせた音楽と琉球舞踊家による御取持の舞を堪能ください。



琉球の芸能監修者
(沖縄県立芸術大学准教授)
遠藤 美奈

先人の精神を汲み、
未来へ想いを馳せる舞台

自然災害や疫病、人頭税に苦しんできた八重山諸島の人々は、「世界報（ゆがふ）」（幸せな世の中）を願って祈り、歌い、踊りました。演目は二部構成で、前半は神前や農作業の場で歌われる古謡中心、後半は首里王府の宮廷舞踊の影響を受けて成立した舞踊を中心に構成しています。先人の精神を汲み、未来について考える舞台です。



八重山の芸能監修者
(八重山芸能研究者)
大田 静男

「水」をテーマに伝統と
現代風創作を共に披露

全体の構成は「水」がテーマです。昔から水不足に悩まされてきた宮古島では、人々は苦しい時代を神への祈りで乗り越えてきました。「祈り」はやがて「唄」になり、「踊り」へ変化し、現在まで受け継がれています。「クイチャー」はその象徴とも言えます。伝統的な舞踊・民謡・古謡と、現代の新しい創作を共にお見せします。



宮古の芸能監修者
(「宮古島創作芸能団
んぎやーんじゅく」
プロデューサー)
前里 昌吾

NAH Art
PICK UP!

見逃せない公演情報を
ピックアップ！

PICK UP! 01
古と現代を
つなぐ舞と唄

「なは一と」では市民の財産である地域の文化芸術の継承、発展、創造、交流の促進を目指しています。開館初年度の「こけら落としシリーズ」では日本を代表する公立劇場・ロームシアター京都と共同で沖縄の多様な芸能に注目し、京都で上演する演目の凱旋公演を行います。

く創作した芸能、琉球王朝時代の楽曲の再現など、古きを受け継ぎ、未来を創造する多彩なプログラムになっています。終演後は各地域の参加者と芸能のこれからを話し合うシンポジウムも開催予定。豊かな唄と舞踊を楽しみながら、込められた願いを受け止め、芸能と共にある沖縄の未来に思いを馳せませんか。

専門家や研究者が監修し、各地域に伝わる伝統的な舞踊と唄から演目を選定。島々で継承されてきた郷土芸能や、新し

PICK UP!002

琉球交響楽団

那覇文化芸術劇場なは一と こけら落としシリーズ

「第42回定期演奏会」 2022年3月21日(月・祝) 15:00開場 16:00開演

曲目:ベルリオーズ/歌劇「ローマの謝肉祭」序曲、ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調(ピアノ:萩原麻未)、フランク/交響曲二短調

PICK UP!001

宮古・八重山・琉球の芸能

2022年3月13日(日) 13:15開場 14:00開演 第1部 宮古の芸能14:00~15:00、第2部 八重山の芸能15:10~16:10、休憩16:10~16:30、第3部 琉球の芸能16:30~17:30 公演終了後、シンポジウムを行います。



希望をテーマに子どもたちがカードを作成。カラフルなイラストや未来に向けたメッセージが寄せられた



当時のことを懐かしそうに話すご婦人たち。次から次へと記憶が思い出され、話が尽きない様子



沖縄に息づく伝統工芸を展示した企画展では、精巧な技術に思わずため息が出る人も

劇場の多様性体験 OPEN THEATER (オープンシアター)

なは一とを体験する「オープンシアター」を開催。当日は、親子連れから高齢者まで、幅広い年齢層の市民らが来館し、出来たてほやほやのピカピカの館内を見学した。

ブルーを基調とした空間で海の中をイメージした大劇場では、会場の広さや天井の高さにびっくりしたり、モザイクのように重なる座席シートや天井の模様に、まるで海底から空を見上げているようだとはいやぐ子どもたちの姿も。「首里城の軒先」をイメージした小劇場では、実際にシートに腰掛けて舞台を眺める人の姿が見られた。

また、大劇場では、なは一とが建設される様子やこれまで行われた文化事業などを映像で紹介。照明や音響を体感してもらうため、歌や音楽に合わせて照明が色とりどりに変化する演出もした。

開館を心待ちにしていたという男性は「内装の美しさに見惚れました。なは一とで、たくさんの舞台公演を楽しみたい」。また、親子で来館していた女性は「子どもと一緒にワークショップに参加したい」と話した。

共用ロビーでは、塩田千春展で展開される「市民と創る芸術作品」の準備として、希望のメッセージを募った。他にも、那覇市市制100周年を記念した、企画展『那覇の伝統工芸～100年の歴史に未来を重ねる』や、那覇市の歴史を振り返る写真展も開催。貴重な工芸品や街の様子が変わっていく写真を来場者は熱心に見入っていた。



那覇文化芸術劇場なは一と こけら落としシリーズ

TSUNAGU.V

地域文化芸術公演
— つなぐ —

地域のまつりが劇場に集結

新劇場のこけら落としシリーズ第一弾として『令和3年度那覇市文化芸術ふれあい事業 地域文化芸術公演 TSUNAGU.V』を開催。公演には那覇市指定無形民俗文化財に指定されている伝統芸能など8団体が出演。約900名が来場した。

「TSUNAGU.V」は、地域の芸能文化の継承や発展を目的に2015年度から開催し、今回で5回目を迎える。第2回公演から企画に携わっている事業担当者に話を聞いた。

「那覇市には伝統的建造物などさまざまな文化財があり、地域で継承されてきた民俗芸能も、無形民俗文化財として10が指定されています。しかし、地元の人以外が見られる機会が少ないことから、まとめて舞台公演という形で発表の場を設けたのが「TSUNAGU.V」の始まりです。これまでは那覇市民会館、市民体育館で開催してきました。毎週周知には苦労していたのですが、今回は新劇場のお披露目ということで多くの方が興味を持たれたようです」

本公演に参加した市指定無形民俗文化財指定団体は5つ。「泊地バーリー」、「首里末吉町の獅子舞」、「首里のクエーナ」、「首里王府の路次楽」、「字安里のフェーヌシマ」。中でも安里南之島保存会は初回公

演以来、後継者不足で一時活動を休止しており、8年ぶりの出演となった。

「保存会の皆さんや地域の方と話す、後継者問題の深刻さを感じます。教える側も高齢者が多く、今しっかり受け継がないとその芸能は消えてしまふんです」

伝統芸能をつなぐ難しさを感じていると話す担当者。だからこそ、特別出演として参加した城北中学校や、発足からまだ35年の松島青年会など、若い人々の参加に希望を託す。

「演出家の野底武光さんのアイデアで、各演目の幕間に団体ごとのインタビュ映像やリハーサル風景の動画を流しました。芸能と、それらを継承する人たちにも注目してもらおうとドキュメンタリー風の構成です。また、今回は那覇市市制100周年を記念し、エンディングで那覇市歌を歌ったので、より特別感がありました」

コロナ禍で地域の行事が中止になり、地域芸能に触れる機会が減っていた中での公演は大盛況。来場者も出演者も久しぶりのまつりに笑顔があふれ、会場は高揚感が一体となった。

「伝統芸能を後世に伝え、つなぐことで、那覇市の未来もいつそう豊かになると思います」

COLUMN

沖縄的アートな目線

水が紡ぐ時間

マームとジブシー

藤田 貴大

1985年、北海道出身。2007年に劇団「マームとジブシー」を旗揚げ。劇中の象徴的なシーンを何度も繰り返し、演出効果を高める「リフレイン」の手法で注目を集める。



“水”という視点を持って、改めて町を歩いてみる。すると、今までただ歩いていただけだった路地が、水で繋がって新しい地図を成していく。いや、新しいのではなくて。もともと、そこでは水が意味を持っていた。そもそものそのことに気がついていなかっただけ。しかも、水と云ってもいろいろあるのが、また楽しい。水に合わせて、歩くテーマを変えてみる。今日は井戸（カー）を巡ってみよう。明日は樋川（ヒージャー）を探してみよう。この道が微妙にカーブして

いるのは、かつて川だったから。暗渠の上を歩いていると知ったとき、足どりが違ってくる。水の流れに沿って歩いていると意識するだけで、随分。点と点が線で結ばれていくと、頭の中で新しい立体が組み上げられていく。もともと／そもそも在ったものは身近なところで埋もれていて。かつてなにがそこに在ったか、それは現在どういう姿をしているか。そう、沖縄はヒントで溢れていた。少し視点を、観点を変えて町に佇むだけで、自ずと新しい表現の可能性が見えてくる。

なは一とで、**育む**

①野村萬斎さん演じる相撲取りがダイナミックに家来を投げ飛ばすシーン ②参加した子どもたちも堂々の演技を披露。台詞回しもパッチリ！ ③色鮮やかな華やかな衣装も見どころのひとつ

市民参加で盛り上げた
狂言「唐人相撲」

昨年12月12日、なは一とのこけら落としシリーズとして、「三番叟 唐人相撲～なは一と編～」が上演されました。狂言師・野村萬斎さんや琉球芸能実演家・嘉数道彦さんが出演し、琉球芸能のエッセンスを取り入れた狂言には10人の那覇市民が参加。プロの役者にも負けない演技を披露しました。

今回、出演した七星琉花さん（10歳）は「大きい声を出すのが難しかったけど完璧にできました」と満足げ。仲座トレラさん（12歳）は「稽古ではプロの方々がとてもわかりやすく教えてくれました。また、目の前で見た役者さんの細かい表現に感心しました」。

一緒に演じることで、市民の伝統芸能に対する興味が育まれる公演となりました。

撮影：大城洋平

なは一とが、**つくる**

①舞台美術は現代美術家の小金沢健人、衣装は植物染色で衣服を制作している橋田優子 (kitta) ②物語は、ある家族を中心に、離島と地下水路のある街を舞台に展開 ③映像や音楽が重なり合った印象的なラストシーン

作品を通して
沖縄の今と向き合う

国内外で活躍する劇作家・藤田貴大氏の新作『Light house』が2月、小劇場で上演されました。この作品は、藤田氏が率いる劇団「マームとジブシー」となは一との共同制作プロジェクトによって実現した公演です。

藤田氏は、2013年に沖縄を舞台にした作品を発表。それ以降、何度も来沖し、沖縄の「今」を見つめてきました。リサーチの中で沖縄の島々が生活水を確保するのに困難だったことを知り、「水の流れ」が重要なモチーフとなったといいます。

作品には、東京と変わらないような沖縄の生活を描きながら、空を横切る轟音といった「普通じゃない」ことも散りばめられていました。沖縄の中にある思いを光のシグナルとみなし、劇場という灯台（ライトハウス）から放つ。観客はシグナルをキャッチし、それぞれの思いに重ねたようでした。

撮影：岡本浩文

沖縄の精神文化を
学ぶ場として

なは一との大スタジオにて昨年12月12日、那覇市文化協会によるうちなーぐち講座成果公演が行われました。テーマは、「語（かた）てい繋（ちな）がな那覇の民話～な一ふあぬ にかしばなし～」。文字のない時代に語り継がれてきた「口承文学」の中から選んだ那覇の民話2作品を通して、うちなーぐちの奥深さを学んだ受講生たちが堂々と発表しました。

「うちなーぐちを学ぶことで、言語だけではなく文化として捉えることができるはず。若い人たちもうちなーぐちの豊かな世界を共感できるようになってほしいですね」と話すのは、那覇市文化協会会長の崎山律子さん。なは一とは、沖縄の精神文化を学習する場としての役割も担っています。



①那覇言葉を使った沖縄芝居「火正月の話」②首里言葉による朗読劇「黄金の瓜種」③幅広い年齢層の受講生が出演 ④テーマ曲の「語てい遊（あし）ばな家族（やーにんじゅ）」を歌ってフィナーレ

なは一とを、**使う**誰でも楽しめる
なは一と オープン
ロビープログラム

なは一との1階共用ロビーでは、気軽に足を運んで、劇場に親しみを持ってもらえるよう無料のコンサートを開催しています。昨年12月5日には、アンサンブル那覇の作曲家の土井智恵子氏が塩田千春作品に共鳴した新曲を発表。合わせて琉球舞踊家の阿嘉修氏による創作舞踊が披露されました。また12月15日からは「みんなのクラシック」と題して、弦楽器や管楽器、ピアノなど、県内外で活躍する音楽家たちが魅力あふれるクラシック音楽を演奏。ロビーを訪れた観客を、クラシックが生まれたヨーロッパへと音楽で誘いました。

なは一とで、**体験**

①現代音楽を奏でるアンサンブル那覇のメンバー ②多くの人が足を止めて、演奏と琉球舞踊のコラボレーションを楽しんだ ③演奏されたのは、首里城復興を願ったオリジナル曲

NAH Art SCHEDULE

2022 2月～5月



最新の情報はホームページへ

公演ピックアップ

**御座楽復元演奏研究会 25周年記念
御座楽演奏会「よみがえる御城（うぐしく）」の調べ**

場：小劇場
日：2月27日（日）
時：14:00 開演
料：前売 3,000円、当日 3,500円
問：080-1716-5047
（御座楽復元演奏研究会事務局・比嘉）
他：ワークショップ開催（HP 参照）

**なはーとこけら落とし インスタレーション
「塩田千春 いのちのかたち」**

場：共用ロビー他
日：開催中～3月6日（日）
時：12:00～20:00（19:30 最終入場）
（休館日：第1・3月曜）
※開閉館時間を変更する場合があります
料：無料（一部有料 300円）
問：098-861-7810（なはーと）

**劇団四季ファミリーミュージカル
「はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～」**

場：大劇場
日：3月5日（土）～6日（日）
時：5日（土）17:30 / 6日（日）14:00
料：SS席 5,500円、S席 4,500円
A席 3,500円、B席 2,500円
問：098-869-4415
（沖縄テレビ放送）



**ロームシアター京都共同制作
「宮古・八重山・琉球の芸能」**

場：大劇場
日：3月13日（日）
時：14:00 開演
料：S席 4,000円、A席 3,000円
B席 2,000円 U24 は各半額
※当日各 500円増
問：098-861-7810（なはーと）

**子どものためのバレエコンサート Vol.12
「Under the sea」**

場：小劇場
日：3月12日（土）～13日（日）
時：12日（土）17:00
13日（日）11:00・15:00
料：2,300円
（0歳児鑑賞可能、2歳児以下は
保護者の膝上で鑑賞可能）
問：Company Dream Art
（098-943-5837）

琉球交響楽団 第42回定期演奏会

場：大劇場
日：3月21日（祝月）
時：16:00 開演
料：一般 4,000円
学生 1,500円（大学生以下）
※当日各 500円増
問：090-9783-7645（琉球交響楽団事務局）

沖縄映画・映像上映事業

場：大スタジオ
日：3月26日（土）
時：15:00
料：無料
問：098-861-7810（なはーと）

なはーとダイアログ・シンポジウム

場：大スタジオ
日：3月28日（月）
時：19:00 開始
料：無料
問：098-861-7810（なはーと）

みんなのクラシック！

場：大劇場
日：2月24日（木）18:00
2月27日（日）15:00
3月14日（月）18:00
時：※公演時間の中止や変更がある場合は、
HP でお知らせします。
料：無料
問：098-861-7810（なはーと）

※新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため、
やむを得ず公演を中止に
させていただきます。

コンセプトブック

「塩田千春 いのちのかたち」

価格／2,750円（税込）
頁数／104ページ
販売／なはーと 他
展示作品の他、塩田氏がな
はーとで制作するまでに、
沖縄の人々と記憶や想いを
積み重ねてきた過程を紹介。



**沖縄復帰 50周年 & 読売創立 60周年記念 那覇公演
「辻井伸行 × 読売日本交響楽団」演奏会**

場：大劇場
日：5月11日（水）
時：19時開演
料：S席 6,500円
A席 5,500円
学生 2,000円（3月19日発売）
問：0570-00-4390（読売チケットセンター）



©Yuji Hori



©読売日本交響楽団



那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27
TEL: 098-861-7810

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う国・県
からの要請に基づき、閉館時間が変更または臨時休
館となることがあります。

〔アクセス〕

バス停

- ① 若松入口 徒歩約6分
- ② 久茂地公民館前 徒歩約2分
- ③ 沖銀本店前 徒歩約6分
- ④ 松尾一丁目 徒歩約6分
- ⑤ 松尾 徒歩約6分

ゆいレール

- ⑥ 県庁前駅 徒歩約6分
- ⑦ 美栄橋駅 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので
公共交通機関をご利用ください

INFORMATION

那覇文化芸術劇場 なはーとでは、劇場をご利用になるすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取り組みをおこなっています。ご来館される皆さまは、当劇場ウェブサイトの【なはーとにおける新型コロナウイルス感染症対策とご来館される皆さまへのお願い】や館内掲示されている注意事項などを、ご確認ください。